

# 資料 4

## 平成25年度高齢者虐待防止事業内容

高齢者虐待を発生させない十分な相談体制等の整備と関係者および市民が高齢者虐待への理解・対応等を深めること、また虐待を受けている高齢者への対応と養護者への支援が充分行えるよう取り組みを行った。

### 1. 高齢者虐待の対応のための体制整備

#### (1) 連絡協議会

7月29日関係者との連携・協力体制を検討した。

#### (2) 高齢者虐待相談専任職員（社会福祉士）配置1名

専門的視点での相談助言と事例からの課題を整理した。

#### (3) 見直しをした在宅高齢者虐待防止対応防止マニュアルの周知

平成25年4月作成した新潟市高齢者虐待防止マニュアルの啓発普及として

① 平成25年5月28日包括支援センター職員及び区健康福祉課職員にマニュアル及び活用について説明した。

② 6月18日新潟市居宅介護支援事業者総会でマニュアルの概要を説明した。

### 2. 一時保護・措置入所利用状況

(資料3参照)

#### (1) 緊急保護施設の確保

高齢者虐待等で一時的に保護を要し、入所やショートの利用が困難な場合に備え、緊急時の一時避難の居室を確保した。

平成25年度利用 4件

#### (2) 措置・ショーステイ

高齢者虐待等によるやむを得ない事由等により介護保険サービスを受けることができない場合に、介護老人福祉施設等に一時的に入所の措置を行い、その後の処遇を検討した。

平成25年度利用 入所7件

(特別養護老人ホーム4件 グループホーム2件 短期入所1件)

### 3. 職員に対する研修会の実施状況

#### (1) 在宅高齢者虐待防止対応防止担当職員研修

平成24年度より新潟市社会福祉協議会へ委託して実施。

##### 【第1回】

日時：平成25年10月29日（火）

対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員 54名

会場：新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター大研修室  
講師：立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 土屋 典子氏  
内容：初動期における事実確認・情報収集について

～安心づくり・安全さがしアプローチ AAA を活用して～

#### 【第2回】

日時：平成25年11月22日（金）  
対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員 46名  
会場：新潟ユニゾンプラザ 中研修室  
講師：立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 土屋 典子氏  
内容：高齢者虐待防止支援におけるストレングス視点コミュニケーション  
～安心づくり・安全さがしアプローチ AAA を活用して～

#### (2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待防止の研修 <新規>

日時：平成25年6月14日（金）  
対象：職員 88名  
会場：新潟市役所 講堂  
講師：日本高齢者虐待防止センター 理事・事務局長 梶川 義人氏  
内容：きまじめ介護の落とし穴（講義とグループワーク）  
「高齢者虐待とはなにか：定義・種類・実態」  
「従事者はどうすればよいのか：発生の仕組みと対応策」

#### 4. 高齢者虐待防止のための啓発について <新規>

一般市民向けに高齢者虐待防止のための啓発ポスターの作製し、公共機関・医療機関・警察署・消防署などに配布し、掲示を依頼した。

#### 5. 地域包括支援センター高齢者虐待防止部会

高齢者虐待対応及び防止に関する業務を取り組みの充実を図るため、各区地域包括支援センターの代表で構成し、地域包括支援センター連絡会の部会として設置し、6月5日、9月4日、9月27日（臨時）、12月4日 計4回実施。

##### <検討内容>

高齢者虐待防止マニュアルの周知と活用してみての課題、事例の検討、事実確認を行うにあたり「訪問調査を実施する際の留意事項」の再確認、関係機関との連携、職員のスキルアップについて等